

えんだより

令和6年度1月
みつづかこども園

新年明けましておめでとうございます

今年もよろしくお願いたします

報恩講

報恩講とは、浄土真宗の宗祖である親鸞聖人のご命日(1月16日)に、親鸞さまのご苦勞を偲び、そのご恩に感謝する行事です。

わたしたちは、自分一人の力で生きていたいと思ひ、毎日を当たり前のように過ごしています。しかし、本当は決して当たり前ではなく、他の多くのものとのつながりの中で生かされて生きているのです。それぞれに命の輝きがあり、互いにその違いを認め合い、ともに生き、ともに育ち合うということを、親鸞聖人は90年の生涯を通して求め、生き抜かれました。

園では、1月15日にみんなでお参りをし、みんなが社会の一員であることに気付かせていただきます。

七草粥

「せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのぎ、すずな、すずしろ、これぞ七草」。これは春の七草を覚えるための歌です。これらの草を野から摘み、かゆに炊き込んで食べると、一年の邪気を払い、万病の予防にもなると言われています。これは古く中国から伝わったものですが、この時期は七草を野で摘むには少し寒すぎるようです。旧暦と太陽暦の違いで時期がずれたようです。今では、農家の促成栽培で「七草のセット」がスーパーなどで売られています。子どもたちには、この古くからの習わしがいろいろな思いを込めて巡る季節の中で行われていることを知らせてあげたいものです。園では7日(火)に七草ご飯をいただきます。

今年こそ

朝6時25分、「もっと寝ていよう」という悪魔のささやきをはねのけるように立ち上がり、10分間の体操を終えると、頭も身体もスッキリ目覚めます。この悪魔の誘いを断ち切る繰り返しこそテレビ体操の大きな効用だと思います。数年前から一念発起して継続している習慣です。そのおかげで平日も休みの日も暑い日も寒い日も元日も、だらだらベッドの中にいて一日のスタートが遅れるということがなくなりました。テレビ体操はラジオ体操第一・第二に加え、みんなの体操やその日の特別メニューが日替わりであります。身体のどこかが痛いときはちょっと動きが悪くなるなど体調のバロメーターにもなっていますが、20年続けている日記とともに続けることそのもののよさを自己満足ですが感じています。まもなく新しい年が始まります。今年こそという気持ちになる方もあるでしょう。どんなに簡単なことでもいいです。何か一つ始めてみてはいかがでしょうか。運動の習慣とか一つ叱ったら三つ褒めるとか…

園長 小藪 達也

お知らせ

- ・成長を喜び合う会は2月17日(月)~21日(金)に予定しています。詳細は12月9日配付の文書やコドモンのカレンダーをご参照ください。
- ・さくら組担当の小椋栄実里が退職し、代わって上久保朋美がさくら組担当となります。

行事予定

8日(水)	始まりの式
14日(火)	交通安全指導
15日(水)	こどもの報恩講
16日(木)	茶道教室(5歳児)
17日(金)	発育測定
20日(月)	保育料引落日
22日(水)	英語で遊ぼう(4・5歳児)
24日(金)	避難訓練
27日(月)	やかた音楽隊演奏会
29日(水)	英語で遊ぼう(4・5歳児)